

コンゴ(共)月例報告

2016年10月

【ポイント】

4月以降、共和国検事による元民兵組織「ニンジャ」の指導者「ントウミ牧師」の捜索が続いている。9月後半に発生した「ニンジャ」の攻撃(23名死亡)に続き、10月31日には、「ニンジャ」はプール県の道路工事現場からダイナマイトを盗み、ポワント・ノワール・ブラザビル間(マトウンブ・ルアル区間)を走っていた貨物列車を爆発させ、線路を切断した。

©特にソースが明記されていない場合は、「Les Dépêches de Brazzaville」、「ICI BRAZZA」、仏通信(AFP)及び仏ラジオ国際放送局(RFI)による

1 内政

(1)共和国検事の決定

10日、オコ共和国検事は治安部隊に対し、元民兵組織「ニンジャ」の指導者とされるフレデリック・ビンサム(通称:ントウミ牧師)及び同師の共謀者・共犯者を捜索・逮捕すべく、あらゆる措置を講じるよう命じた。

(2)追悼式典

11日、ブラザビル市内にて、政府は、9月末にプール県内で発生した「ニンジャ」の被害者23名に対する追悼式を開催した。

(3)野党幹部発大統領宛の公開書簡

12日、コンゴ野党集団(COCP。野党幹部によるプラットフォーム)は、サス・ンゲソ大統領に公開書簡を送付し、プール県内での軍事作戦中止、現場視察許可、人権の尊重、建設的・包括的な対話を要請。

2 治安:ニンジャによる攻撃

31日、ニンジャはプール県の道路工事現場からダイナマイトを盗み、ポワント・ノワール・ブラザビル間(マトウンブ・ルアル区間)を走っていた貨物列車を爆発させ、線路を切断した。

3 外政

(1)二国間関係

ア コンゴ(民)

10日、ガコソ外務・協力・在外コンゴ人大臣は大統領特使としてカビラ・コンゴ(民)大統領を表敬訪問し、中部アフリカの治安情勢、二国間関係の強化に関するサス・ンゲソ大統領のメッセージを伝えた。

イ ルワンダ

27日、カガメ・ルワンダ大統領は、ブラザビルに48時間滞在し、サス・ンゲソ大統領と良好な二国間関係の維持につき協議した。

(2)多国間関係:AU臨時首脳会合

15日、トーゴの首都ロメにて、サス・ンゲソ大統領は、アフリカの海洋安全保障、海上安全及び開発に関するアフリカ連合(AU)臨時会合に参加した。

4 経済

(1)2017年予算法案の閣議可決

10月末、閣議にて2017年予算法案が可決された。歳入は前年比27%減の1.68億FCFA(約25.6億ユーロ)。内、税外歳入は0.51億FCFA(約7.8億ユーロ)、石油収入0.47億FCFA(約7.3億ユーロ)歳出は、2.1兆FCFA(32.1億ユーロ)となる。2014年下半期以降、輸出の8割、歳入の4分の3を占める石油価格の下落の影響を受け、国庫勘定も2017年予測では対GDP比2%の赤字となる見込み。経済成長率は2016年+2.6%、2017年は+3.4%となる見込み。

5 我が国との関係

5日、軽部大使はガコソ外務・協力・在外コンゴ人大臣に信任状のコピーを提出した。